

代表者 白石勉
事業 時計側製造
使用労働者 男一七名

三、労働者側

争議参加労働者 男一四名

鷹橋 関東金属労働組合北量島支部 ト稱スルモ其實詳ナク又現在何等ノ策動ナシ

争議参加者中組合加入者 ナシ

四、争議發生ノ時 昭和四年十月二十日

五、争議發生ノ原因

本工場ハ下谷區池之端仲所加賀屋時計石野屋勇造方ニ於テ販賣ノ時計側ヲ製作シ居ルモ最近全時計店カ破産状態トナリ程ワテ數日ノ賣捌口ヲ失シ工場閉鎖ノ已ムナキニ至リ客員二十日職工ニ對シ工場主ハ非公式ニ此ノ内情ヲ打明ケタルニ職工側ニ於テハ工場主ノ破産ノ事ハ相當ノ解雇手當支給方ヲ

要求シ争議發生スルニ至

六、要求事項注ニ其交渉状況

別記要求書(寫)ヲ提出セルカ職工中四名ハ無断缺勤シ密ニ関東金属労働組合北量島支部ノ鷹橋ヲ求メタル模様ナルカ出勤職工ノ半数ハ就業セズ半数ハ作業ヲ續ケ居レリ

七、回答状況

要求書ニ對シ工場主ハ極力多額ノ解雇手當ヲ支給スル様口頭ヲ以テ回答シ電話其他家財道具等ヲ賣却專ラ金策ニ奔走中

八、將來ノ豫想

職工側モ工場主ノ誠意ヲ諒トシテ工場閉鎖ノ時機ヲ見ツマルノミナラズ以テ金策整ヒ次第解決ヲ見ル見込ナリ

右及申(通)報候也